2024年度　第２回 子育て茶話会を開催しました

７月13日（土）保護者４名、卒業生保護者３名、教員１名、計８名が出席しました。
SNSなどをテーマに様々な視点から経験を出し合いました。
今後の日程　9月14日(土)　11月16日(土)　いずれも14:00～16:00
保護者の皆さま、ぜひお気軽にご参加ください。

参加者の感想を一部ご紹介します（抜粋）

＊ 以前から参加したかったので今回参加させて頂けて良かったです。
学年を超えて大学生や高校生の保護者の方のお話は、今悩んでいることや気にかかることは時が経てば小さい事かもしれないと思う事が出来ましたし、悩んだ分子供と向き合える今子育てのすごく貴重な体験をさせてもらっているのだと再確認する事が出来ました！
思春期の娘とのやり取りで、やりきれない気持ちも時にはあるのですが、そのような時はまた茶話会を通してまた気付きを得られればすごく有難いです。このような機会を設けて頂き感謝致します。（保護者）

＊ 人数が少なめな分皆さまとの距離感が近く、いつもに増して温かい会でした。『勉強したくても登校できない子ども達を置き去りにしてはいけない』とのご意見があり、同感でした。
対面には及びませんが、Zoom などで自宅と繋がるとクラスの仲間と共に授業に参加している感覚が味わえるのかなと...
タブレットの有効活用、デジタルとアナログを選べると良い、などこれからの時代に合う形で変化していけると良いなと思います。茶話会は他学年のお母さん、大学生のお母さんもいらして未知の世界の話を伺うことも出来るので大変興味深く貴重な時間を過ごさせて頂きました。（保護者）

＊ ＤＸ化の話題で、法政大学経営学部にお子様を通わせている保護者のお話では、ツイッターで課題の共有がなされるなど進化を感じ、大人もデジタル化にくらいついていかなければと思いました。途中退席して戻ったところ「話し合いが深まり、学校への要望もでましたよ。」とのことでした。貴重なご意見として受け止めました。　（教員）

＊ 記事の紹介：『健康教室』２０２４年７月号所収/養護教諭 蛭田絹子「性別問わず混合による生徒健康診断の実践～性の多様性への配慮とこれまでの学校の取り組み」

以上